

患者図書室“いきいきの森”だより

緩和ケアの本、入りました

「患者さんと家族のためのがんの痛み治療ガイド」は、がん患者さんが抱く心身の痛みのうち「からだの痛み」に焦点を当てて、痛みの伝え方や薬について等を Q&A 形式で解説しています。患者さんの遠慮や痛み止め

に対する誤解により、不必要な我慢をすることのないようにと願って刊行されました。

広報誌「みんなのひろば」でも紹介しています。



7月の貸出テーマランキング

1位 絵本

「じょうぶなからだをつくるたべもの」

「すっきりうんち」他

2位 血液・リンパ

「絵でわかる血液のはたらき」他

3位 脳・神経系

「頭痛外来へようこそ」他

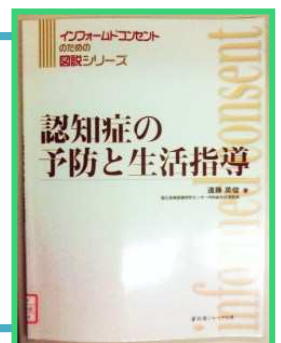


図書の紹介

今月は認知症に関する本をご紹介します。65歳以上では、約4人に1人は認知症またはその予備軍であるという統計が出ているそうです。今後さらに増加すると予想されていますが、ご紹介する二冊では、認知症はある程度予防が可能だと説いています。まずは是非ご覧下さい。

「認知症の予防と生活指導」 遠藤英俊/著

インフォームドコンセント時に使用することを目的として作られているため、患者さんへ正確に分かりやすく伝わるよう工夫されています。早期発見・治療の重要性から国の施策まで、最新情報を解説しました。



「ボケにならない、進ませない」 大友英一/監修

原因や予防を中心に「認知症にならない、進行させない」生活を解説。また認知症の症状や行動にどのような理由や目的があるのか、具体例を挙げながら接し方をアドバイスしています。

